ARAKAWA

Company Profile

憊 荒川工業株式会社 会社案内



http://www.arakawa-co.jp

社会と 働 お客様第 共存共学 きが 製品 V 0) 調 0) 追求 追 信頼され 基

History 会社沿革

1941年 6月 荒川尚一(故人)が名古屋市南区にて個人企業として創業 1941年 6月 愛知機械工業㈱の協力会社となり、航空機の部品加工及び治 具の製造に従事

法人組織に変更、荒川工業株式会社設立 1944年 2月 資本金48万円

1945年 9月 愛知機械工業㈱・三菱重工業㈱・㈱デンソー等の協力会社とし て、自動車部品及び農機具の製造に従事

1970年 5月 荒川厚次(現会長)社長に就任

南区道徳町に道徳工場新設、工機部門を設置し、専用工作機 1972年12月 械・治工具の内製化を競合他社に先駆けいち早く導入

1975年 8月 資本金4,300万円に増資

南区寺部町に寺部工場新設、本社工場・道徳工場と併せ3工場 1985年 5月 体制となる

手狭になった3工場を集約して、愛知郡日進町(現日進市)に移転 敷地面積50,000㎡、工場面積11,900㎡ 1988年 5月

1989年10月 資本金8,250万円に増資

1998年 1月 トランスファの加工・組立専用工場として第2工場を新設、3,700㎡

2001年 9月 トランスファの受注量増加にともない第2工場を増築、4,000㎡ 2002年 3月 ISO14001環境マネジメントシステム認証登録

2003年 3月 ISO9001品質マネジメントシステム認証登録

工場隣地を取得し敷地面積80,000㎡となる

アルミ部品の加工専用工場として第3工場を新設、4,300㎡

アルミ部品の受注量増加にともない第3工場を増築、4,300㎡

トランスファユニットの出荷累計100万台達成 2008年 2月

坂井陽二社長に就任 2009年 6月

トランスファユニットの出荷累計150万台達成 2011年 1月

日本設備管理学会「モノづくり大賞」受賞

2013年11月 トランスファユニットの出荷累計200万台達成

2014年 2月 ISO/TS16949:2009認証取得(現在IATF認証に移行)

JIS Q 9100認証取得 2015年 4月

アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区申請・認定

アルミ部品の受注量増加にともない第3工場を増築、3,000㎡

2017年11月 愛知労働局より「働き方改革 ベストプラクティス企業」に認定

2018年 9月 五代目社長 杉谷卓志社長就任

Outline 会社概要

名 荒川工業株式会社

愛知県日進市米野木町北山226番地

取締役社長 杉谷 卓志

1944年2月22日

8.250万円

203億円: '17年度実績

401名('18年10月現在)

建物:33,900㎡ 内工場面積31,900㎡

自動車用動力系及び駆動系部品製造並びに 専用工作機械、加工・検査治具の設計、製作、販売

吸•排気系部品

潤滑·冷却系部品 駆動系部品

トランスファユニットおよび部品 トランスミッション部品

ディファレンシャルユニットおよび部品

シャシー系部品

アクスルコンプリートおよび部品

ブレーキ部品

アイシン精機株式会社 アイシン・エーアイ株式会社

アイシン高丘株式会社 愛知機械工業株式会社

ジヤトコ株式会社 GKNドライブラインジャパン株式会社

株式会社大同キャスティングス 三菱自動車工業株式会社

三菱重エエンジン&ターボチャージャ株式会社

三菱UFJ銀行

商工組合中央金庫 名古屋銀行 岡崎信用金庫 みずほ銀行 他

ごあいさつ

当社は、1944年に設立以来、自動車部品の加工・組立とその部品を製 造するための設備機械を自社で生産するというこだわりのもと、500名規 模の企業に成長してまいりました。

現在、自動車業界は「100年に一度の大変革の時代」を迎え、車の価値 観や概念が大きく変わろうとしています。

とりわけ、自動車業界のキーワードである "CASE(ケース)" Connected:連結 Auto:自動運転 Sharing:共有化 Electric:電動化 の波が押寄せ、その変化への対応いかんが会社の存続を決める時代を迎 えています。

当社は、「いい仕事いい会社」を合言葉に、お客様重視、人の和、コミュ ニケーションを尊重する思いやりのある人財育成と働きがいのある環境づ くりにこだわり、「高品質で生産性の高いスマート工場」「新分野への参入」 をめざし、更に邁進してまいります。

どうぞこれからも皆様の温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申 し上げます。



Products 製品紹介

見えない所に生きています

エンジン部品 Engine Parts



ベアリングハウジング

軸受、シール機構を内蔵し、タービンハウジング、コンプレッサーハウジングの中央で両ハウジングを結合し、支える部品。

クランクケース

クランクシャフトの軸受構造を保持し、異物など によるエンジンの動作不良についても防ぐ部品。



タイミングチェーンカバー

インテークマニホー

吸気ダクトから入ってきた空気を各シリンダー の吸気ポートまで分配する部品。内側は滑らか で抵抗が少なくどのシリンダーに対しても同じ

ように送り込めるような工夫がされている。

クランクシャフトとカムを連動させるチェーン を覆うカバー。騒音・振動など車の快適性に 直接関わる部品。

シャシー系部品 Chassis Parts

ナックル

タイヤ・ホイール、ブレーキシステムを保持している部品。フロントナックルはタイロッドと連結され、ステアリング操作から前輪の舵取りをする部品。

世界中の大手自動車メーカーと取引を結び、人気車種の部品の生産を受け持っているのが荒川工業です。

エンジン、ミッション、トランスファ、アクスル、サスペンションなど、どれをとっても「走る」「曲がる」「止まる」といった車の生命線を担う大切な部品ばかりです。

駆動系部品 Drivetrain Parts



T/M & T/F Ass'y

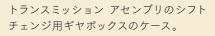
トランスミッションから伝達される動力を2WD↔4WDに切替えるユニット。



トランスファギヤ

トランスファ アセンブリの中に組みこまれる動力を切り替えるための歯車類。

トランスファフロントケース



エクステンションハウジング

FR車のトランスミッション後方に位置し、アウト プットシャフトを覆うカバー。



トランスファケース

トランスファのギヤ類を格納するメインのケース。

Manufacturing 荒川のモノづくり

荒川のモノづくりは 8つのステップとチームワークで お客様に最高のサービスを提供します

受注活動 (受注可否判断)

STEP 1

受注展開(日程展開)

STEP 2

製品実現計画 (各部署の計画確認)

STEP 3

生産準備(各部署の進捗確認)

STEP 4

生産試作(試作段階での妥当性確認)

STEP 5

量產品出荷(量產品出荷可否判断)

STEP 6

初期管理(初期不具合の再発防止)

STEP 7

量產(初期管理解除)

STEP 8

製品実現会議



お客様に満足していただけるモノづくりを実現していくために全部署による「製品実現会議」をステップ毎に開催し、品質・コスト・納期の確保を図っています。

設備設計・工程設計



3D-CADやCAD/CAMを使用し、オリジナルな設備・治具の企画設計やバーチャルエンジニアリングによる工程設計を自社で確立し、技術革新のスピード、多様化する顧客ニーズにフレキシブルに対応しています。

設備製作



専用加工機の100%を自社で設計・製作し、短期間での立上げを可能にしています。又、ライン編成は単体機を主体としており、ピットレスフロアーを採用する事であらゆる生産量への対応を可能にしています。

計測





製品の寸法、形状、面粗さなど、製品が要求品質を満たしているか、最新鋭の検査設備にて計測・試験を行い、お客様が安心できる品質を提供しています。

加工・組立ライン





荒川工業の技術力を現実のものとするモノづくりは1個流し生産を基本とし、得意とする異形物の機械加工だけでなく、歯切り加工・高周波熱処理・研削加工・コンポーネントアセンブリとモジュール化されています。荒川工業はただ単なる部品メーカーでは終らず、量、質、モラルの全てにおいて、本当に価値あるよいものを多くのお客様に提供することを目指しています。もちろん、そのための人材・環境づくりにも余念がありません。

Workman 情熱の荒川職人紹介

荒川工業は人間尊重を基本とする モノづくり・ヒトづくりにも余念がありません



荒川工業に働く一人ひとりが、全てにおいて協力意識を大切にすること。 また、個々人が技術・技能を磨きながら常に持ち味を最大限に発揮する。 その結果が多くのお客様に喜んでいただけるよう努力しています。

会社のみなさんの笑顔が好きです!

総務部 伊藤さん

就職活動でいくつかの会社を回ってみて、初対面の私に一番笑顔であいさつをしてくれたのが荒川工業で、その場でこの会社に就職しようと決めました! 社会保険や勤務管理の仕事を担当しており、社員のみなさんが安心して働き、笑顔になってもらうことが私のやりがいです。



第1製造課 中原さん

品質は会社の生命線です。不良品は「受け取らない」「造らない」「流さない」この三つの考え方に基づき「品質最優先」の考え方で、モノづくり・ヒトづくりに挑戦しています。



技術課 眞野さん

新製品の工程設計と立上げを担当しています。ラインがスムーズに 立ち上がり、設定目標を達成した時に苦労が報われ、大きな達成感 を感じます。

男性に負けずに頑張ってます!

第6製造課 善福さん

学生時代にハンドボールで鍛えた体力で男性にまじって「荒川のモノづくり」に一役かっています。街中で自分が造った部品を使っている車を見かけると思わず笑顔になっちゃいます。

大変な仕事ですが、やりがいがあります!

保全課 竹原さん

設備のメンテナンスとレイアウト変更など、一分一秒を争う仕事を 担当しており、毎日大変ですが充実した日々です。修理が終わった 時に製造部の方から「ありがとう」と言われた時が最高の気分です。



Welfare program 福利厚生

会社設立記念式•年末感謝祭

社員とその家族、地域の方々を大切にすべく、毎年4月の最終稼働日に社員の家族や地域住民の方を招待し、会社敷地内で設立記念パーティーを開催、12月の最終稼働日には名古屋市内のホテルで社員全員が集まり、感謝祭を開催しています。







職場レクリエーション活動

従業員同士のふれあいを大切にする場として、職場対抗のレクリエーションを実施しています。 競技の得点を争い、上位チームは賞金が授与され職場の懇親会等に活かされます。







クラブ活動

社員の福利厚生を目的に、ゴルフ部、釣りクラブ等いろい ろなクラブがあります。その中でも軟式野球部は日進市軟 式野球連盟に所属し、活動しています。

余暇の充実

従業員とその家族を対象とした、契約宿泊施設が各観光地に所在します。 利用時は会社が宿泊費の一部を負担して、気軽に利用できるように配慮しています。

ファミリー・フレンドリー企業



当社は愛知県ファミリー・フレンドリー企業に登録しています。

社員の方々が日々生産活動に従事できるのも、ご家族の理解と支えがあってです。又、安心して子育てができてこそ、女性の活躍の場が広がります。子供たちの明るい未来のために、短時間勤務などできることから実践しています。それらの「働き方改革」に向けた独自の取組みに対し、2017年に愛知労働局より「ベストプラクティス企業」として県下で唯1社認定されました。

International Organization for Standardization

認証取得



IATF 16949

当社は自動車産業のみならず、航空・宇宙産業事業の顧客要求事項を満足すべく、JIS Q 9100:2016に従った品質マネジメントシステムを確立し、2015年認証を取得しました。



ISO 14001

当社においてISO 14001:2015に従った環境マネジメントシステムを確立し、当社の環境側面に関係して適用可能な法的要求事項及び当社が同意するその他の要求事項を満たし、環境保全及び汚染の予防を図ると伴に、環境マネジメントシステムの継続的改善のプロセスを有効的に運用して環境パフォーマンスを改善し、社会に貢献することを目的とする。



愛知ブランド企業

愛知県では、県内製造業の実力を広く国内外にアピール し、愛知のモノづくり企業を「愛知ブランド企業」として認 定しており、当社は2016年に県内有数の機械加工メー カーとして認定されました。

Philanthropy activvity 社会貢献

地域社会との融和

当社は、『地域社会との融和』を環境方針のひとつに掲げています。 地域に融け込んだ企業をめざし、活動を推進しています。

学童交通指導

毎月『交通事故ゼロの日』に会社周辺の横断歩道にて、近 隣の小学校児童の登校時の安全確保を目的とした交通指 導を実施しています。





インターンシップ・職場体験

「わが町 日進」に貢献すべく、地域の小中学校の職場体験 や高校・大学生のインターンシップも積極的に行っています。 工場見学をした児童が当社を気に入って、10年後に入社し た社員もいます。





地域清掃

地域貢献の一環として美化活動にも力を入れており、日進市のごみゼロ(530)活動には毎年有志が参加しています。 新入社員の入社初日には入社式のスーツから作業着に着替え、一人ひとりに与えられるマイほうきを持って近所の神社を清掃、 地域への感謝の気持ちは忘れません。







◎ 荒川工業株式会社

〒470-0111 愛知県日進市米野木町北山226番地 226.Kitayama Komenoki-cho Nisshin-city Aichi-prefecture TEL(0561)74-0111 / FAX(0561)74-0018 http://www.arakawa-co.jp E-mail ark@arakawa.co.jp